

平成30・31年度 群馬県教育委員会
ぐんまの子どもへの体力向上推進事業
公開授業研究会

館林市立美園小学校

美園小の研究主題について

互いを認め合い、

楽しんで運動に取り組む児童の育成

美園小の研究主題について

『互いを認め合う』とは？



運動の得意・不得意があること
能力に差があること



これらのことを理解し、『励まし合う』こと

美園小の研究主題について

『楽しむ』とは？



『できる』ことが楽しさにつながる



スモールステップや補助での経験の重要性

美園小の研究主題について

互いを認め合い、
楽しんで運動に取り組む児童の育成
～スモールステップを取り入れた
体育の授業を通して～

美園小の研究主題について

○2年間の指定における研究の計画

- 1年目・・・体育専科教員による授業を行い、
児童の技能向上を図る
- 2年目・・・体育専科教員がT2として関わり、
教員の指導力向上を図る

1年目の取組

☆5本の柱☆

- ① 体育授業の充実
- ② 仲間とのかかわり合い
- ③ 基礎体力の向上
- ④ 地域人材の活用
- ⑤ 器械運動の技を系統ごとに

整理・見える化

①体育授業の充実

○専科教員による専門的な体育授業

- ・技能ポイントを明確にした指導
- ・全員に運動を経験させるための補助
(マット運動・跳び箱運動・鉄棒運動)

②仲間とのかかわり合い

○見るポイントの明確化

- ・児童同士で見合い、アドバイスできるように、ポイント図を作成



④地域人材の活用

○地域のスポーツ指導者による授業

- ・身近な道具を使っての体づくりの運動(遊び)

(1~3年)

- ・タグラグビー(4~6年)



⑤ 器械運動の技を 系統ごとに整理・見える化

- 体育館にスモールステップ図を掲示
 - ・ マット運動、跳び箱運動の技の連続写真とポイント、スモールステップ例の掲示



実践②

○投の運動を取り入れた授業

- 本日公開した授業
- 初等教育資料2018年10月号と
子どもの体力向上ガイドブック
平成30年度版に掲載



実践③

○体育授業プログラムの導入

- 群馬大学の鬼澤准教授による
「鬼遊び」の授業(2年生)



実践④

○保健・食育との連携

- ・健康な生活をするための保健教育
- ・健康を維持するための
栄養教諭による食育指導



体力向上の成果

○成果

・新体力テストの結果から

総合評価 (%)	年	A		B		C		D		E	
	29	9.1	23.5	35.6	21.4	10.4					
30	12.2	27.5	32.6	20	7.8						

体力合計点平均 (点)	年	1男	1女	2男	2女	3男	3女	4男	4女	5男	5女	6男	6女	平均
	29	27.7	26.1	34.5	36.7	41.8	43.2	47.0	49.0	53.5	54.6	61.4	63.4	44.9
30	27.8	26.9	36.7	34.7	43.2	45.4	48.7	51.1	54.8	57.6	62.4	63.6	46	

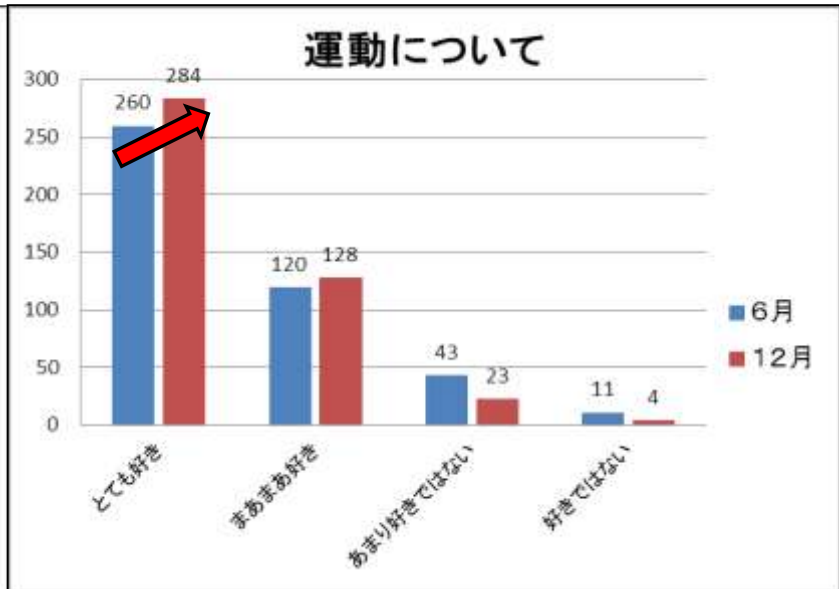
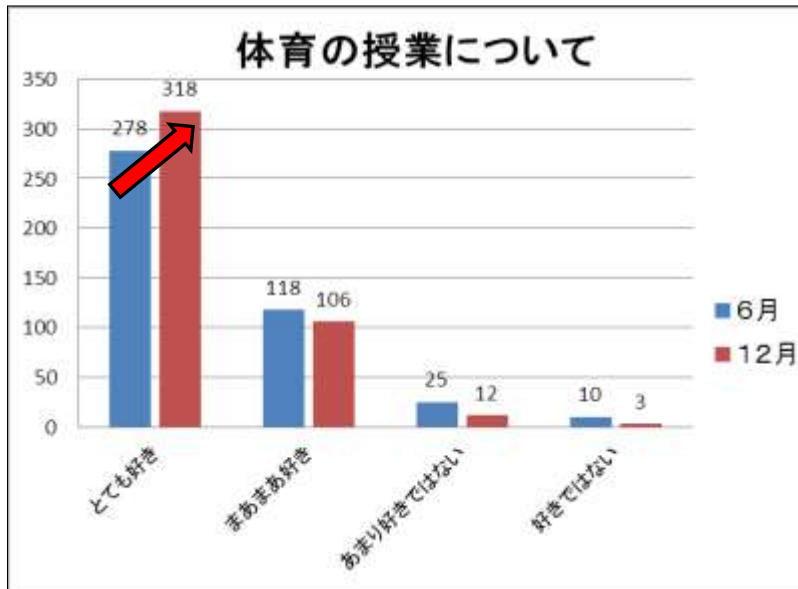
- ・A評価が前年度より3.1%上がり、E評価が2.6%下がった。
- ・体力合計点も前年度より1.1点上がった。

意識向上の成果

○成果

・児童アンケート(H30. 6月と12月)の比較から

・体育授業が「とても好き」と答えた児童が全校で40人増え、運動が「とても好き」と答えた児童が全校で24人増えた。



取組の課題

○課題

- 教員の指導に係る実践力の向上に向けた工夫
- 全教職員による組織的な取組の充実